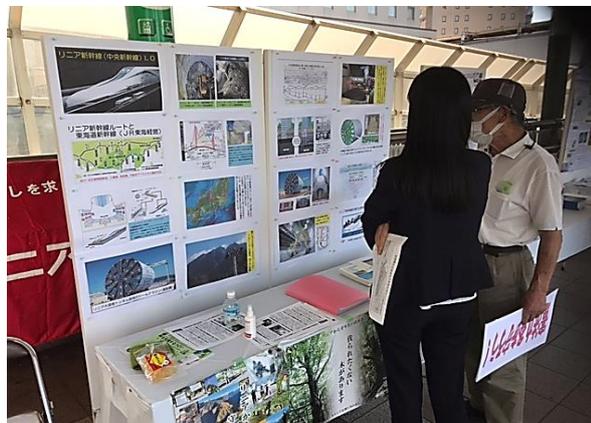


第27回公害・環境、健康、まちづくりフェスタ参加報告

2022年5月30日 リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会



5月29日（日）午前10時30分から午後3時まで、川崎市高津区のJR南武線武蔵溝ノ口駅北口デッキで第27回公害・環境、健康、まちづくりフェスタが開かれました。川崎市内の38の市民団体が展示ブースで市民に活動をアピールしたほか、医療、法律関係者が無料相談を行い、日曜日の買い物などで出かけていた家族連れや若者たちも展示を読んだり、イベントブースのフラメンコ、マジックを眺めたりしていました。

東京・神奈川連絡会は環境・まちづくりコーナーに展示ブースを設けて、リニア新幹線の事業のあらまじや、トンネル工事によるアルプスの地下水の影響、川崎市内のリニア大深度トンネル工事の計画や想定される生活環境の被害などについて、地図や写真を交えてわかりやすく紹介しました。

リニア事業や工事についてよく理解されていない方も多く、市内のリニアルートや非常口の場所などについての説明に耳を傾ける方も見られました。

また東京・神奈川連絡会から、大深度トンネル工事についてすでに東京外郭環状道路で地盤陥没が起きていることや、岐阜や名古屋のリニアトンネル掘削現場でわずか半年間で4件もの崩落事故が発生していることについて紹介し、リニア大深度トンネル工事でも地表や地盤に影響する事態も起



こりうることを説明しました。

フェスタには東京・神奈川連絡会から5人が参加し、工事の問題点を取り上げたチラシ約100枚を市民に配布しました。

フェスタ終了前の15分間は、参加団体一同が『ロシアのウクライナ侵略抗議』、『憲法9条の改悪反対』のボードを掲げスタンディングアピールを行いました。

